

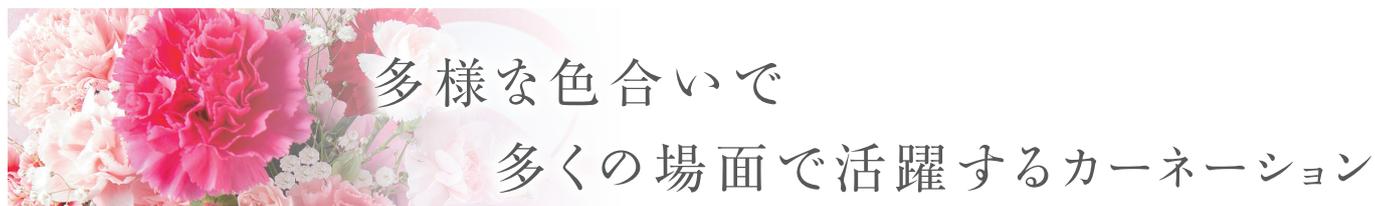
Oyama Flower

小山花卉園芸組合
カーネーション部会



生産者からのメッセージ

定期的に現地検討会を開き、栽培技術の向上を図っています。消費者のニーズに応えられる産地を目指して、市場や販売店との結束に力を入れ取り組んでいます。出荷は9月下旬から翌年6月頃まで行います。



（カーネーション部会員名）

遠藤 正

岸 幾夫

岸 秀紀

Oyama Flower
小山花卉園芸組合

（組合生産品種）

ST品種



フォルテ



モモカ



ジュリア



パレオ



イエローパレオ



オリーブ



セルティック



プラテリア



ムーンライト



モンブラン



アクティバ



レディシオン

SP 品種



ドリーミーブロッサム



コスモチェリー



スターチェリーテッシノ



トレンディテッシノ



セーラム



イエロープリン



ラスカルグリーン



ミルキーウェイ

栽培方法 ～小山のカーネーションを手にしたすべての人を喜ばせるために～

1. 土壌消毒/肥料



薬品を散布した後、ビニール被覆をして土を消毒します。土壌診断に基づいて肥料を入れます。

2. ベット作り



トラクター等で耕し、ベットを整えます。支柱やかん水パイプの配置まで行う生産者もいます。

3. 定植



定植は1坪あたり50～60本の苗を植えます。植えた後はかん水(水やり)を行います。

8. 片付け/準備



出荷終了時の残り株を引き抜き、支柱やネットも片付けます。トラクター等で土壌を耕し、次年度の準備をします。



現地検討会・目揃会の実施

こまめな現地検討会や目揃会を行い、時期によって最適な切前、状態でお客様に届くよう心掛けています。

こまめな防除

病害虫を出さないために、薬散・温度管理を行います。11月下旬からは暖房も入れ、経費もかなり掛かります。雑草を抜くのも大切な防除です。

4. 摘心(ピンチ)



苗が伸長し始めたら摘心をします。複数の芽を育て、切り花の本数を得る技術です。

7. 検査/出荷



JAの集荷場での厳密な検査を経て出荷となります。高品質・安定出荷を目指して取り組んでいます。

6. 採花/荷造り



時期や気温により切るタイミングをます。春先から出荷のピークとなり、早朝から夜遅くまでの作業が続きます。

5. 芽かき



必要のない芽を取り除く作業です。失敗したり怠ったりすると、品質低下に繋がるので、細心の注意が必要です。